【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第３区分
【発行日】令和6年7月8日(2024.7.8)

【公開番号】特開2023-22377(P2023-22377A)
【公開日】令和5年2月15日(2023.2.15)
【年通号数】公開公報(特許)2023-030
【出願番号】特願2021-127167(P2021-127167)
【国際特許分類】
Ｆ２４Ｄ 17/00(2022.01)
Ｆ２４Ｈ 15/196(2022.01)
【ＦＩ】
Ｆ２４Ｄ 17/00 Ｐ
Ｆ２４Ｈ 1/00 ６０６Ａ

【手続補正書】
【提出日】令和6年6月28日(2024.6.28)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
水を加熱して湯を生成する第１加熱装置及び第２加熱装置と、給水源から供給される水を第１加熱装置に供給する給水路と、第１加熱装置で生成された湯を出湯栓に供給する出湯路と、出湯路に接続される即湯循環路と、即湯循環路内の湯水を循環させながら第２加熱装置で加熱する即湯運転を実行可能とする制御装置とを備える即湯システムにおいて、
即湯循環路の接続位置よりも上流の出湯路から分岐し、浴槽へと接続される湯はり路が設けられ、湯はり路を通じて出湯路の湯を浴槽へ供給する湯はり運転を実行可能な構成を備え、
制御装置は、即湯運転中に、湯はり運転と出湯栓への給湯の同時使用又は湯はり運転の単独使用のいずれが行われているかを判断し、湯はり運転と出湯栓への給湯の同時使用の場合、即湯運転を禁止し、湯はり運転の単独使用の場合、即湯運転を継続させる制御構成を備える即湯システム。
【請求項２】
請求項１に記載の即湯システムにおいて、
給水路又は湯はり路への分岐部よりも上流の出湯路に設けられ、出湯路を流れる湯の流量を検出する給湯流量センサと、
湯はり路に設けられ、湯はり路を流れる湯の流量を検出する湯はり流量センサとを備え、
制御装置は、即湯運転中に、湯はり流量センサと給湯流量センサとの検出値の流量差が所定の流量以上の場合、湯はり運転と出湯栓への給湯の同時使用であると判断して、即湯運転を禁止し、前記流量差が所定の流量未満の場合、湯はり運転の単独使用であると判断して、即湯運転を継続させる即湯システム。